

令和8年1月市長定例記者会見

日時：令和8年1月7日（水） 午後1時30分～

場所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、朝日新聞、
北日本放送、NHK富山放送局、チューリップテレビ、射水CATV、
庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、商工企業立地課長、
観光まちづくり課長、農林水産課長、環境課ゼロカーボン推進係長

Q1. 台湾での観光トップセールスで売り出したいことは何か。

A1. 一昨年の9月に、初めて台湾台北市でトップセールスを行った。その際には、台湾の皆さんにどういった本市の観光コンテンツが刺さるのかのリサーチも行い、カニ、花火大会への関心が非常に高いことが分かった。実際、昨年の富山新港花火大会には、台湾から多くの観光客に来ていただいた。

高雄市などの台湾南部は、これまで効果的な誘客をできていない状況であり、台湾南部の方々がどういったものを好まれるのかについても、今回のトップセールスでリサーチできればと思う。

また、曳山、獅子舞、食、花火も併せてしっかりPRしていきたいと思っている。

Q2. 「有楽町かきだ」・「とやま鮓銀座」での射水市フェアについて、昨年に引き続き実施することになった理由は何か。

A2. 昨年、5貫盛りを1日50食、全部で700食ぐらいを提供予定だったが、ほぼ売り切れというような状況であった。非常に反響があったと考えており、今回も引き続き、取組を実施する。

また、前回は「とやま鮓銀座」のみでの開催だったが、今回は「有楽町かきだ」でも行うものである。「有楽町かきだ」は、修行未経験ながら指折りの名店となった背景や、SNSによる高い知名度から、これまでの手法では届かなかった若年層・首都圏層の利用を見込んでいる。

Q 3. 寿司に関して、今回発表以外のイベント予定はあるか。

A 3. 現在、お伝えできる具体的なイベントはないが、今後も県や県内市町村と連携しながら進めていきたい。

「天然のいけす」と言われる富山湾は非常に種類の多い魚が水揚げされており、それが豊富な寿司のネタに繋がっているのが魅力の一つである。また、漁場と港が近いので新鮮な魚が水揚げされる。そういう強みを発信しながら、富山のすしのおいしさを色々な機会を通じて、全国の皆さんにPRしていきたい。

Q 4. 市長出演によるドキュメンタリー映像（YouTube）の内容は何か。

A 4. これから作成するため詳細は承知していないが、作成後は、速やかにアップし、期間中多くの方に来店いただきたい。楽しい仕掛けになるようである。グルメに精通している芸能人、石塚英彦さんにも出演いただいてPR動画を作ると聞いている。

Q 5. 「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」がユネスコ無形文化遺産に登録となつたが、今後のPRについて

A 5. 本市が誇る歴史文化を世界でも評価していただき、非常に私たちも喜んでいる。また、文化保存継承に携わってこられた関係者の皆さんに、敬意と感謝を申し上げたい。

「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」のユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」への登録を記念し、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」を紹介するパネル展を開催予定である。確定しているのは、市内3か所である。

1 開催場所及び開催期間

(1) 場所 射水市役所 1階エントランスホール

期間 令和8年1月19日（月）～2月6日（金）

(2) 場所 高周波文化ホール 展示室2

期間 令和8年2月12日（木）～2月20日（金）

(3) 場所 小杉展示館

期間 令和8年3月20日（金・祝）～3月29日（日）

※展示期間終了後に、放生津・新湊コミュニティセンター等での巡回展示を予定。

2 内容

展示パネルにより、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」を紹介する。

①ユネスコ無形文化遺産及び「山・鉾・屋台行事」について

（山・鉾・屋台行事の概要、分布図、開催スケジュール

②放生津八幡宮祭の曳山・築山行事

③令和7年「山・鉾・屋台行事」追加行事（常陸大津、村上、大津）

④全国各地のユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」33件

次期ユネスコ登録候補行事（愛媛県宇和島市）

今後の記念事業の実施等については、地元関係者の方、市民・県民の方により良い形で周知が図れるよう、保存会や関係者の方々とも相談しながら、実施内容や方法等を検討してまいりたい。

Q 6. おこめ券の配布スケジュールについて教えていただきたい。

A 6. 詳細なスケジュールは、後ほど担当から説明する。

おこめ券については、国の物価高騰対策の重点交付金を充て、多くの支援メニューの一つとして考えている。市として主な支援の内容は、「水道料金の支援」、「プレミアム付商品券」、「児童手当の増額」がある。時期を逃さずにできるだけ早く支援をさせていただくことなど背景を考えた結果、高齢者、生活保護世帯へはおこめ券の配布となった。

Q 7. 射水市事業承継マッチングプラットフォーム「relay the local 射水市」開設後、具体的にどのように支援をしていくのか。

A 7. 市内事業者にアンケート調査を行い、後継者を探している（事業を譲りたい）方にヒアリングを行い、オープンネームでの後継者募集を希望

する場合には、取材し、経営者の想いや事業の魅力を記事にしてサイトに掲載する。

また、広報 PR により、地域内外への周知を図る。

Q 8. オープンネームでの掲載を希望しない場合、どのような支援が行われるのか。

A 8. 富山県事業承継・引継ぎ支援センターで実施している後継者人材バンク等の紹介などを行うほか、状況確認や訪問支援等を行っていく。

Q 9. 令和6年能登半島地震から2年を迎えるにあたり、復旧・復興や被災者支援などへの思いをお聞きしたい。

A 9. 今年が「被災者支援災害復興ロードマップ」の最終年であり、液状化対策・家屋被害・インフラ被害の復興に道筋をつけたい。

また、被災者支援では、これまでも支援制度などもお知らせをしながら、生活再建の支援をさせていただいてきたところである。

震災・被災から未来に向けてしっかりと踏み出していけるように、行政としても寄り添った支援をしていきたい。